

平成 25 年度 再評価点検表（内部評価）

1 事業概要

事業名	主要地方道 泉佐野岩出線（葛畑工区）道路事業	
担当部署	都市整備部 交通道路室 道路整備課 建設グループ（連絡先 06-6944-9276）	
事業箇所	泉南市信達童子畑	
再評価理由	事業採択後 10 年を経過した時点で継続中	
目的	<p>本路線は、大阪府南部と和歌山県北部を結ぶ、重要な府県間連絡道路である。</p> <p>本バイパスの整備により和歌山県との連携など広域的な幹線道路ネットワーク機能を強化し、沿道地域の発展に寄与する。</p> <p>また、並行、一部重複する現道は、広域緊急交通路に位置づけられているが、狭隘部や線形不良区間が多くあるため、本路線の整備により災害時の緊急車両用道路等の機能を確保する。</p>	
内容	<p>道路築造工</p> <p>延長：L=0.9km</p> <p>幅員：W=8.0m（車線数：2、歩道なし）</p>	
事業費 （ ）内の数値は 計画時点（又は前回 評価時点）のもの	<p>全体事業費：約 45.8 億円</p> <p>（内訳）調査費等約 1.5 億円</p> <p>用地費 約 11.8 億円</p> <p>工事費 約 32.5 億円</p>	<p>【工事費の内訳】</p> <p>道路築造工事約 32.5 億円</p>
事業費の変更理由	<p>【事業費変動要因の状況】</p> <p>—</p> <p>【他事業者との協議状況】</p> <p>—</p>	
維持管理費	5.0 百万円／年・km	

2 事業の必要性等に関する視点

	【事前評価時点 H6】	【再評価時点 H25】	【変動要因の分析】
事業を巡る社会 経済情勢等の変化	<p>・本路線は、大阪府南部と和歌山県北部を結ぶ、重要な府県間道路であり、現道のバイパス道路として整備するもの。</p> <p>・本路線の整備により、広域的な幹線道路ネットワーク機能と防災機能の強化を図る。</p>	<p>・本事業区間に接続する一般府道堺阪南線から泉南市信達童子畑までの 7.2km 区間は平成 25 年 3 月に供用済み。（うち泉南市信達金熊寺から信達童子畑の 3.1km 区間については、暫定 2 車線供用）</p>	<p>[主要地方道泉佐野岩出線] 交通量（平日 1 2 時間）</p> <p>H17 13,449 台</p> <p>H22 14,541 台</p>
地元等の 協力体制等	<p>・和歌山県、岩出市、泉南市より早期整備の要望があり、本事業の早期完成に対する期待は非常に大きい。</p>		

	【事前評価時点 H6】	【再評価時点 H25】	【変動要因の分析】
事業の投資効果 <費用便益分析> または <代替指標>	<p>・計画時点では費用便益の分析手法が確立されておらず、算出していない。</p>	<p>【効果項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・走行時間短縮 ・走行経費減少 ・交通事故減少 <p>【分析結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・B/C=1.2 B= 114.6 億円 C= 95.6 億円 <p>（信達金熊寺地内から府県境までの 2.7km 区間で算出）</p> <p>【算出方法】</p> <p>費用便益分析マニュアル（国土交通省平成 20 年 11 月）</p> <p>※総便益及び総費用は、基準年（平成 21 年）における現在価値で算出している。社会的割引率は年 4%、供用開始は平成 25 年、費用便益の算定期間は供用開始から 50 年としている。</p> <p>※総費用＝事業費＋維持管理費</p> <p>【受益者】</p> <p>道路利用者</p>	—
事業効果の 定性的分析 （安心・安全、活力、 快適性等の有効性）		<p>【効果項目】</p> <p>[安心・安全]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時の広域緊急交通路の確保 ・狭隘、線形不良区間の解消による安全な道路交通確保 <p>[活 力]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物流ネットワークの強化 <p>【受益者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路利用者、地域住民 	—
事業の進捗状況 <経過> ①事業採択年度 ②事業着工年度 ③完成予定年度	<p>①平成 6 年度</p> <p>②平成 6 年度</p> <p>③平成 25 年度</p>	<p>①平成 6 年度</p> <p>②平成 6 年度</p> <p>③平成 25 年度</p>	—

	【事前評価時点 H6】	【再評価時点 H25】	【変動要因の分析】
<進捗状況>	—	<ul style="list-style-type: none"> 全体 84.1% (38.5 億円／45.8 億円) 用地 100% (11.8 億円／11.8 億円) 工事 78.5%* 調査費等含む (26.7 億円／34.0 億円) 	—
事業の必要性等に関する視点における判定（案）	<ul style="list-style-type: none"> 本事業区間を整備し、暫定 2 車線で全線供用することにより、広域的な幹線道路ネットワーク機能の強化が可能。 並行、一部重複する現道は、狭隘、線形不良区間が多いが、本路線の整備により広域緊急交通路としての防災機能の強化が可能 <p>以上により事業を継続する。</p>		

3 事業の進捗の見込みの視点

事業の進捗の見込みの視点における判定（案）	<ul style="list-style-type: none"> 本事業区間に接続する一般府道堺阪南線から泉南市信達童子畑までの 7.2km 区間は平成 25 年 3 月に供用済み。 本事業区間は平成 26 年 3 月に供用開始予定。 <p>以上により、事業を継続する。</p>
-----------------------	--

4 コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点における判定（案）	<ul style="list-style-type: none"> 本事業区間に接続する前後区間は供用済みであることから、代替案立案の余地はない。 <p>以上により、事業を継続する。</p>
------------------------------	---

5 特記事項

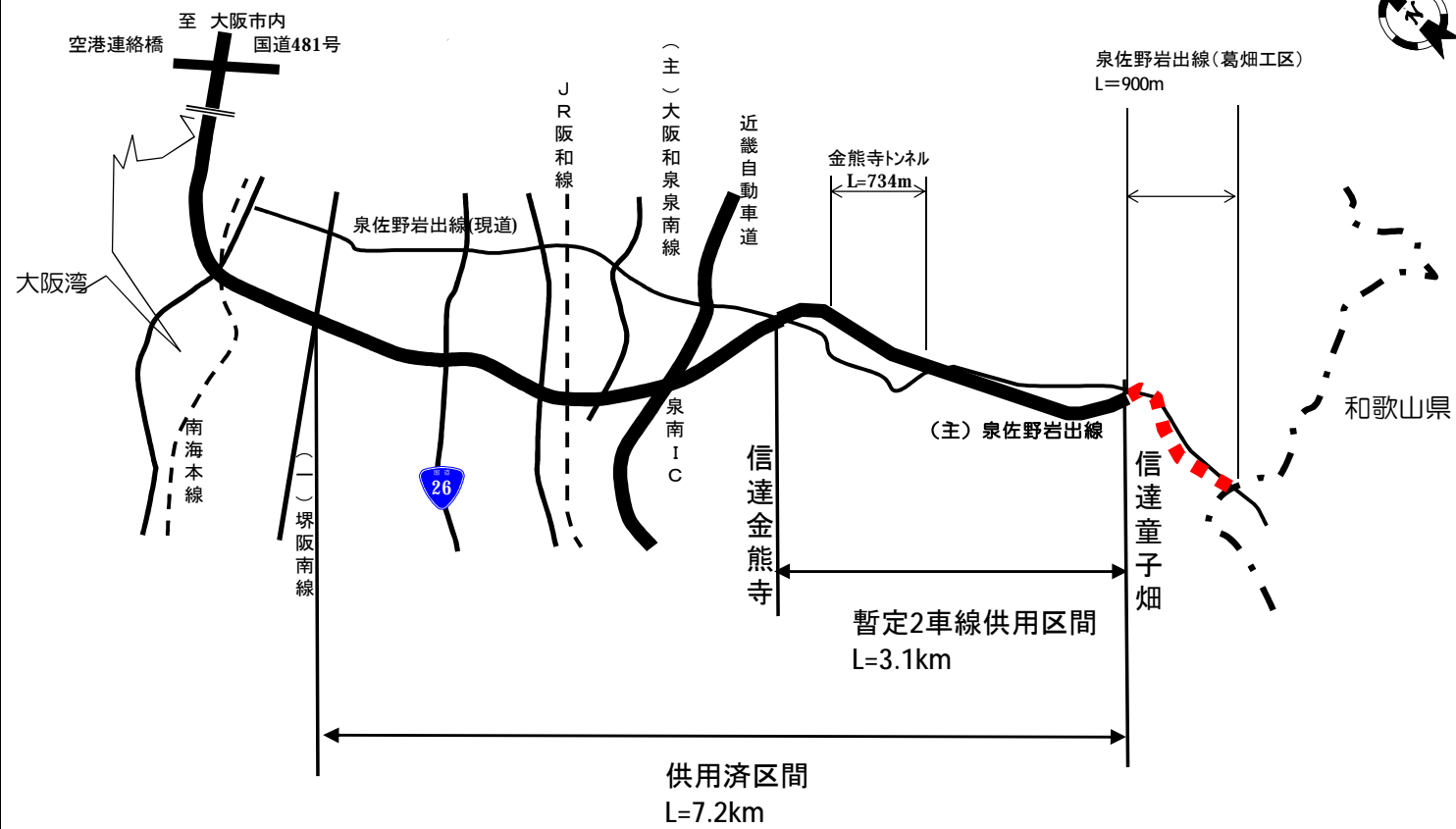
自然環境等への影響とその対策	<ul style="list-style-type: none"> 切土法面箇所は、既存の植生種を利用し、当該道路周辺の生態系を乱さないよう緑化対策を実施。
前回評価時の意見具申と府の対応	—
その他	【上位計画】 大阪府都市整備中期計画（案）（H24. 3. 30）

6 評価結果

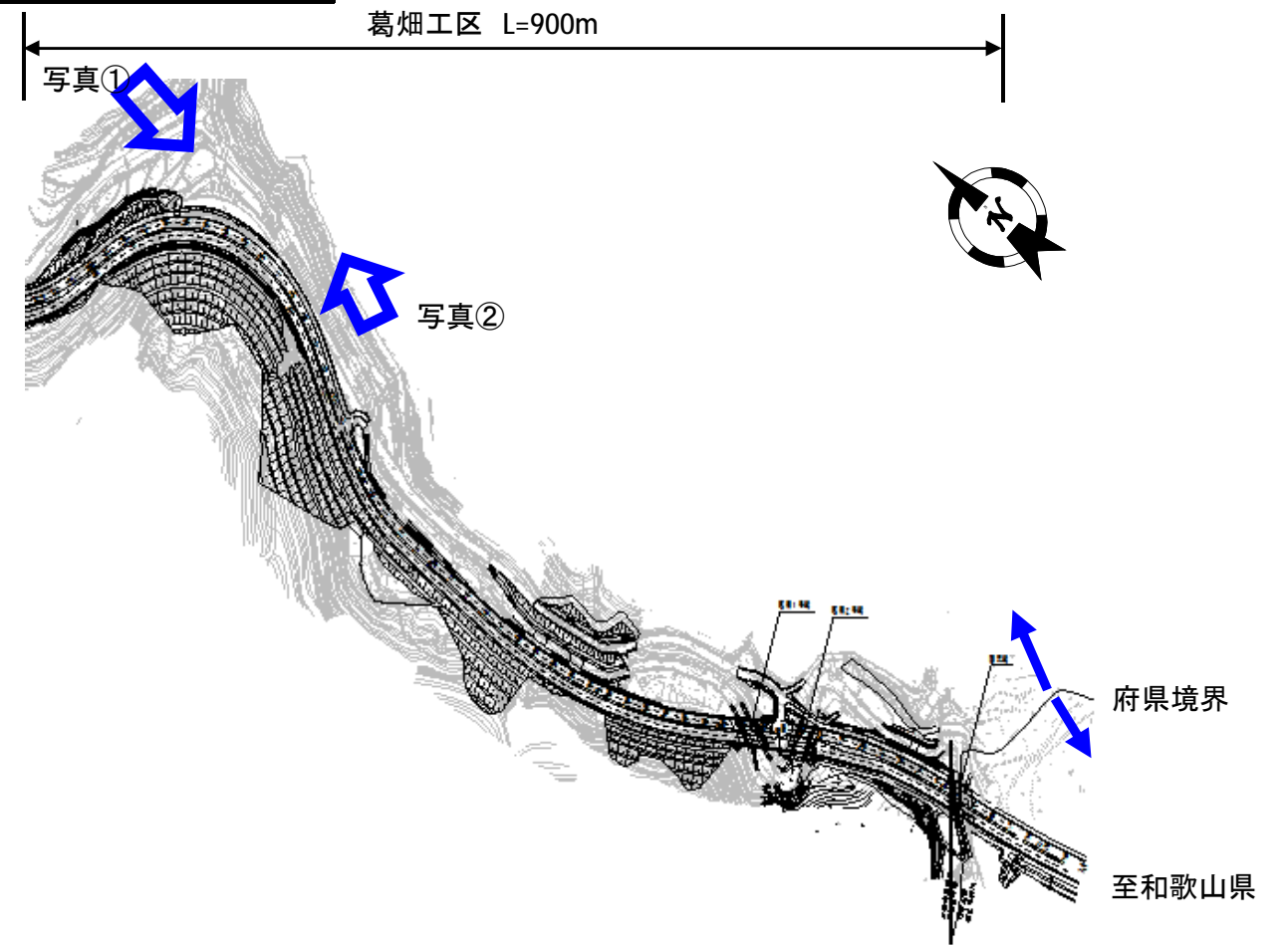
評価結果	○継続 <判断の理由> <ul style="list-style-type: none"> 広域的な幹線道路ネットワーク機能及び防災機能の強化、狭隘、線形不良区間の解消による道路交通安全の確保など、必要性については変化がない。 本事業区間に接続する前後区間は供用済みであることから代替案立案の余地はない。 <p>以上により、事業を継続する。</p>
------	--

平成25年度 再評価 (主要地方道 泉佐野岩出線 道路事業)

事業箇所図



平面図



現況写真

写真①



写真②



標準断面図

